

飛躍の学年にするには

ただ、多くの親にとって「悩みの学年」である小学4年生も、何か特別な魔法がなければ全員脱落してしまうというほど厳しいものではありません。では、小4を飛躍の学年にするには、どうすれば良いのでしょうか。

まず、子供自身に一つでも得意なことがあれば、それが大きな自信となり、難題に直面しても乗り越えられる原動力となります。

「得意なこと」は勉強に限定せず、図工や体育、または人前で話すのが得意など、どんなことでも構いません。何か他の人より秀でているものがあれば、物事をポジティブに考え、困難に立ち向かえる強さを伸ばすことができます。

得意なことが勉強以外だと、親から「こんなことができて…」と一蹴されることもありますが、無視したりけなしたりするような言動をせず、子供の得意なことを認め、理解するようにしましょう。そういった親の姿勢が、小学4年の壁を乗り越えるサポートになります。

それに加え、やはり重要となってくるのは勉強です。何時間も勉強を無理強いさせる“教育虐待”は論外ですが、基本的な学力は必須。日頃から、習った漢字をしっかりと書けるよう、また四則計算でミスをしないように基本問題を繰り返す。こうして基礎固めをする地道な努力は小学4年生以降に実を結ぶので、軽視してはいけません。

また、既習内容があやふやな場合は、つまりいた学年や単元まで戻って復習をすることも大切です。「抜け」があると土台が強固にならず、学年が上がっていくとボロボロと壊れていきます。

自信と基礎学力の2つの柱がないと、壁にぶつかったときに乗り越えることが難しくなる。逆に、その2つがあれば着実に乗り越えて自分の能力を発揮できるようになる。分岐点となる学年を無事に過ごし、その後の飛躍につなげるには、心と学力のバランスがカギとなってきます。